



オフセットフレールモータ

取扱説明書

製品コード	K43199
型 式	FSTAS-180
製品コード	K43200
型 式	FSTAS-200
製品コード	K43201
型 式	FSTAS-220
製品コード	K43202
型 式	FSTA-250

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIスター

はじめに

このたびは、サンエイ・フリーチョッパー「TA, TA/S シリーズ」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本機は、チョッパー専門メーカー、イタリアの Berti 社で製造された機械です。

この機械の性能を十分発揮させ“安全で楽しい作業”を行うために、この取扱説明書を熟読され、正しい取扱をしていただきますようお願い申し上げます。

尚、部品の注文をされる場合には必ず、本機のフレーム正面に貼ってあります本機銘板により、型式と製造番号を明示の上、部品表の番号で注文くださいますようお願い申し上げます。

尚、この取扱説明書は TA, TAS シリーズ共有となっていますが、両シリーズの違いはミッションが機械左側に配置されたのが TAS シリーズになります。本書の中では主に TA シリーズのイラストを用いています。



印付きの下記のマークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

・・・その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。



警告

・・・その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

・・・その警告に従わなかった場合、けがを負う恐れのあるもの又は、製品の重大な損傷をまねく恐れのあるものを示します。

この取扱説明書及び本機に貼ってあるステッカーは、補修部品として用意しています。

紛失したり、汚れて読めなくなった時は、新しいものと取替えましょう。

も く じ

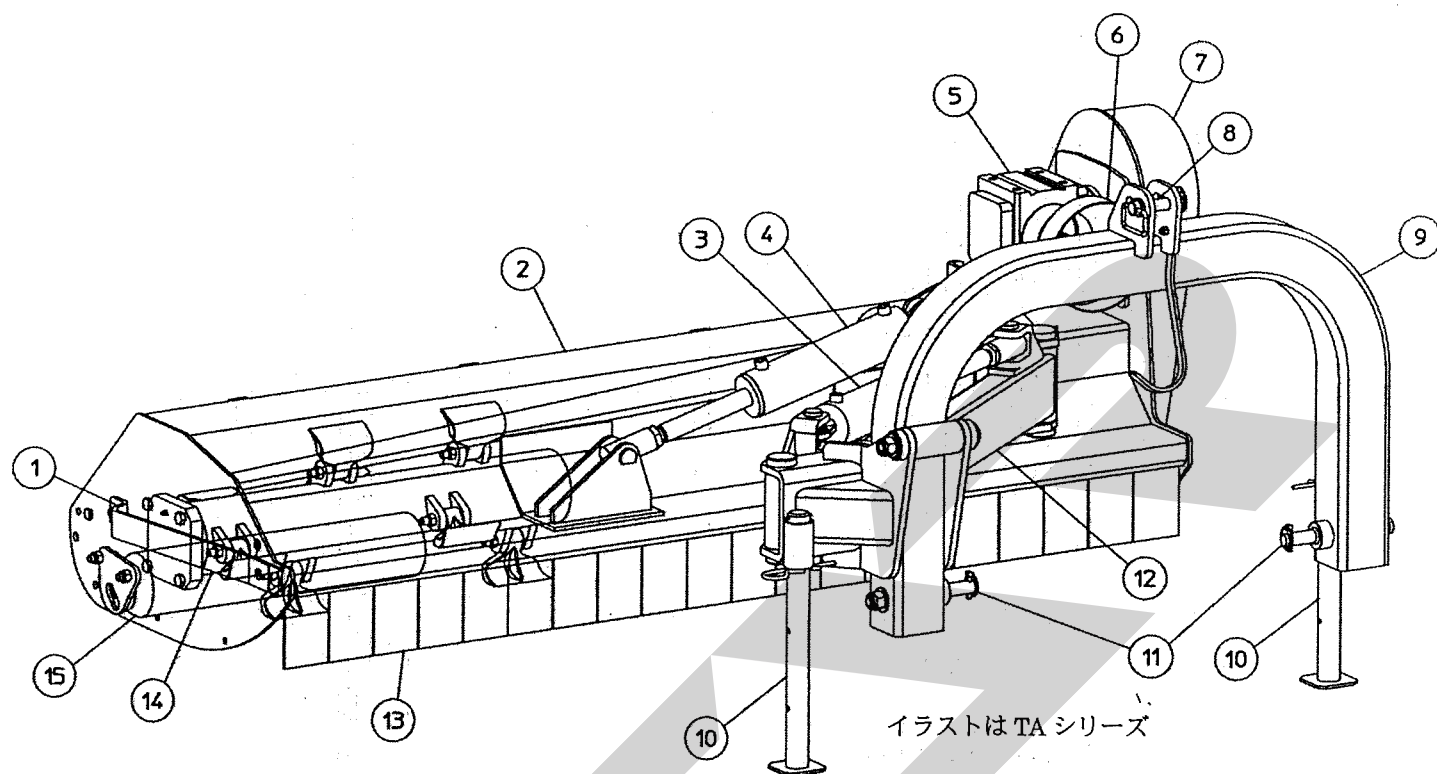
取扱説明書

● 各部の名称	3
● 安全について	
1. 安全の心得	4
2. 仕業点検	5
● 機械組立	6
● トラクタの取付け・取外し	
1. トラクタの点検	7
2. トラクタの取付	7
3. 油圧システム	8
4. P.T.O ジョイントの取付	9
5. トラクタの取外し	10
● ご使用になる前に	
1. 作動確認	11
2. トラクタのバランス	11
3. 走行について	12
4. 路肩、畦端の作業について	12
● 操作心得	13
● 操作について	
1. 操作概要	14
2. 使用時の注意点	14
3. 作業開始	15
4. トラクタの前進速度	15
● 各部の調整と操作	
1. 定期メンテナンス	16
2. ミッションオイル	16
3. グリスアップ	17
4. Vベルトの調整	17
5. 刈取り刃の交換	18
6. ゲージローラーの調整	18
● 仕様・諸元表	19
● 結び	19

部品表

1. TA	21
2. TAS	31

各部の名称



No.	名称
1	サイドガード
2	フレーム
3	シリンダー(サイドシフト)
4	シリンダー(ヘッド傾き)
5	ミッション
6	入力軸カバー
7	プーリーカバー
8	トップリンク・ピン
9	ヒッチ
10	スタンド
11	ロアリンク・ピン
12	アーム
13	フラップ
14	チョッパー軸
15	ゲージローラー

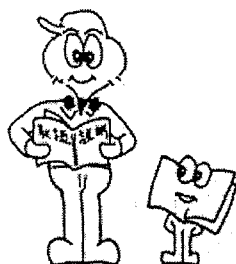
安全について

1. 安全心得

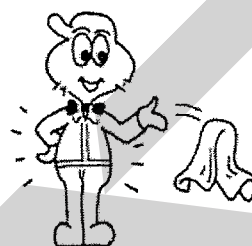
農作業の機械化が進むと共に、機械による事故も非常に多くなってきました。“安全で楽しい農作業”をするためにも次の注意事項を良く読んで常に安全に心掛けてください。



作業前に必ず取扱説明書をお読み
いただき、正しくご使用下さい



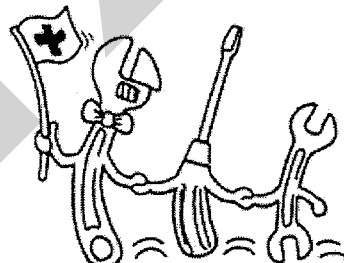
体に合った服装をし、手ぬぐい等は
身につけないでください。



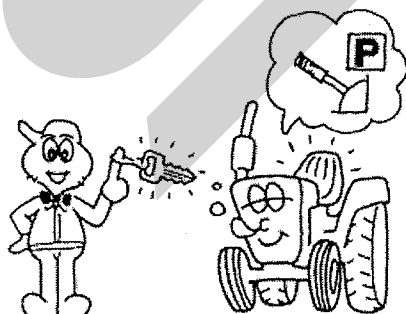
体調がすぐれない時や飲酒での作
業はやめましょう。



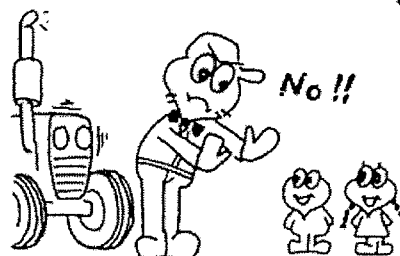
作業点検・整備は、安全作業の基本
です。



作業機から離れる場合は必ずトラクタ
のエンジンを止めサイドブレーキを掛
けてください。



作業者以外の人、特に子供は近づけ
ないでください。



安全について

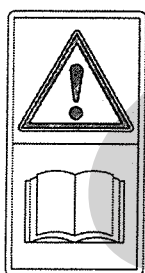
2. 仕業点検

点検整備は安全作業の基本です。作業前に毎日必ずおこなってください。

[点検箇所]

フレーム回り	1) 曲がり、亀裂、溶接のはがれの無いこと。 2) 塗装の割れが無いこと。(割れがあると強い力がかかった証拠です。) 3) ボルト・ナットの緩み、脱落の無いこと。
プーリー・ベルト部	1) ベルトの伸び、キズがないか点検すること。 2) Vプーリーの取付用セットスクリューに緩み、脱落の無いこと。
ブレード・ローター部	1) ブレードの脱落、割れの無いこと。 2) 取付ボルト・ナットの緩みの無いこと。 3) ローターに曲がり、亀裂、溶接のはがれの無いこと。 4) ベアリングに異常の無いこと。
カバー・ガード	1) 全て取付けて使用すること。
P.T.O.ジョイント	1) 安全カバーを取付けて使用すること。 2) 回転防止チェーンを使用すること。
オイル量	1) ミッション内のオイル量を確認すること。

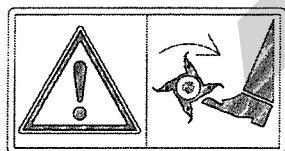
3. 警告ラベル



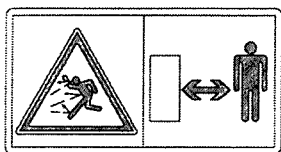
本機の使用時は危険を伴うことがあります。使用前には必ず取扱説明書を熟読してください。本機を使用する人はもとより、周りの人の安全にも注意が必要です。

本機を一人以上で使用する場合は、他の人もこの取扱説明書を読む必要があります。

取扱説明書にはわかりやすい様に絵文字等を使用しています。



本機の駆動を止めてからも少しの間ローターは回転を続けます。修理、点検等は必ずローターが完全に停止してから行ってください。



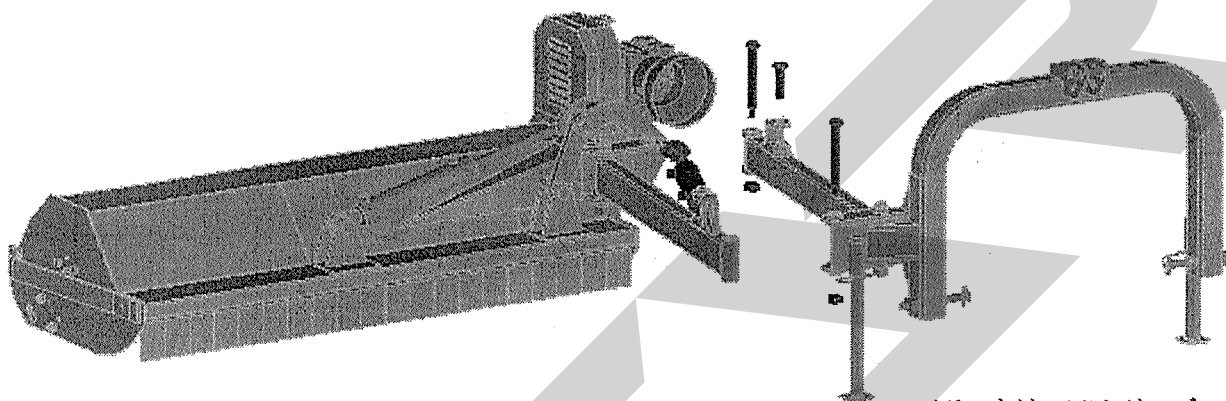
本機を作動させる時は、周囲（特に後方）に人がいないことを確認してください。石、砂等が飛ぶことがあり危険です。

機械の組立

機械が輸送中、一部分解されて出荷される事があります。次の様に組立てください。



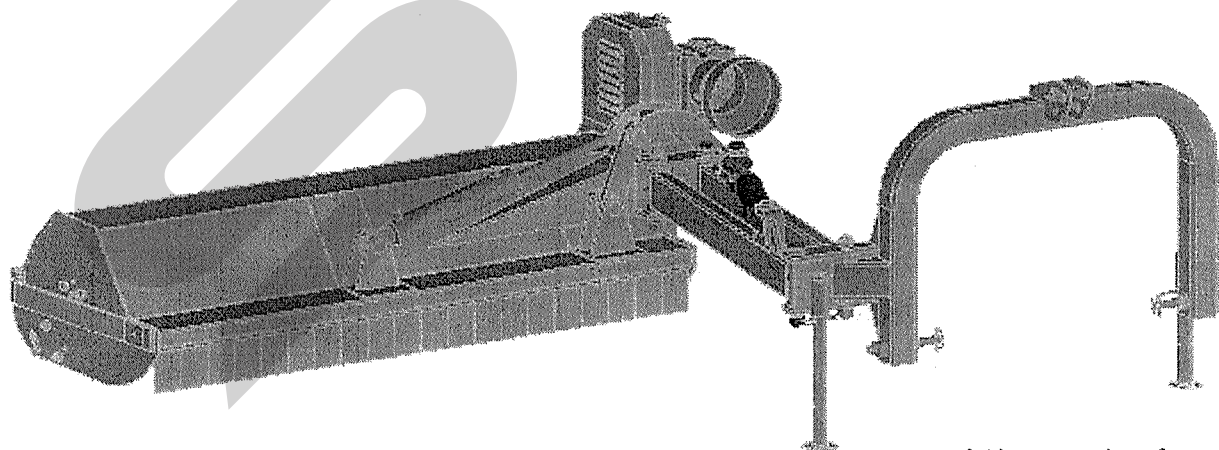
組立作業は、機械が大きく、非常に重量があり非常に危険です。他の人と共に行うか、ホイスト等を使用し、安全には十分注意して行ってください。



イラストは TAS シリーズ

[組立手順]

- 1) 機械本体を平坦で地盤の良いところを選んでおく。
- 2) 3点リンクヒッチを取り出し、地面におく
- 3) 静かにアームを取付位置まで動かして、ピンで固定する。
- 4) サイドシフトシリンダーを固定する。



イラストは TAS シリーズ

トラクタの取付け・取外し



この作業は非常に危険です。トラクタを機械に近づけたら、機械の前に立たないこと。回りに人がいない事を確認してください。P.T.O の回転はOFF状態で作業を行う事。

1. トラクタの点検

本機を取付ける前に必ずトラクタの点検を行ってください。

(1) トラクタの大きさ

本機の使用出来るトラクタの大きさは、以下になります。これ以下のトラクタでは使用できません。※トラクタの機種によっては、フロントウェイトが必要です。

TA 180/200/TAS180/200: 70PS 以上 / TA 220/250/ TAS220:80PS 以上

(2) トラクタの仕業点検

取付前にトラクタの取扱説明書を良く読み、仕業点検を行って下さい

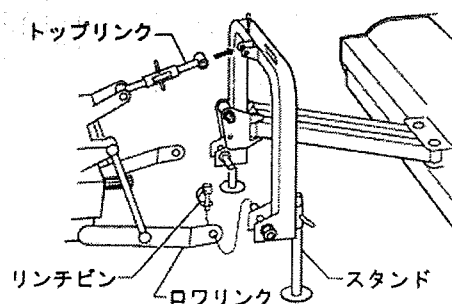
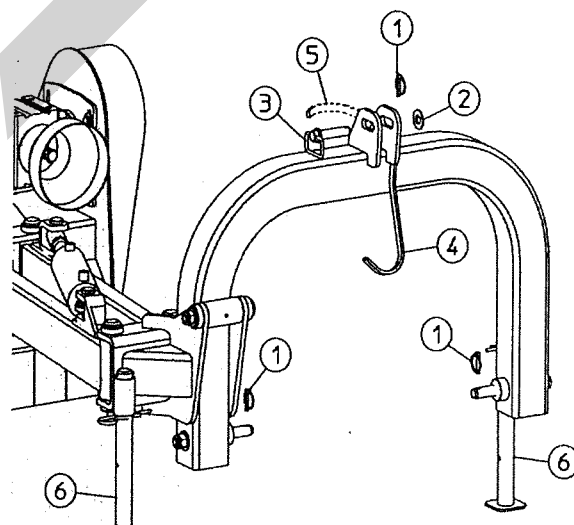
(3) ロアリンクの点検

本機とトラクタの装着はロアリンクとトップリンクです。

ロアリンクは大リンク（Ⅱ型）専用です。

2. トラクタの取付け

- (1) 安全ピン①を外し、ワッシャー②とピン③を外す。
- (2) トラクタのロアリンクを本機取付け位置に合わせながら静かにバックしロアリンクを取付、リンチピン①で止める。
- (3) トラクタのサイドブレーキをかけ、エンジンを止める。
- (4) 本機の左右の振れ止めを調整する。
- (5) P.T.O.ジョイントを確実につなぐ。
- (6) ジョイントフック④を⑤の方向にする。
- (7) トップリンクをピン③に入れ、ワッシャー②を入れて、リンチピン①で止める。
- (8) トップリンクは長穴にセンター付近になる様にトップリンクの長さを調整して固定する。
- (9) 本機を地面から上げて、スタンド⑥を外す。
- (10) 油圧ホース4本（複動2系統）を取付ける。



イラストはTA シリーズ

トラクタの取付け・取外し

3. 油圧システム

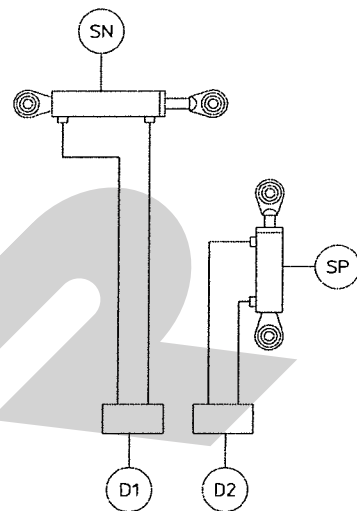
本機は油圧シリンダー二本を装着して、トラクタの油圧で駆動する。
トラクタは複動2系統を装備され、最低 130 b の油圧が必要です。

SN : アングル・シリンダー

SP : サイドシフト・シリンダー

D1 : 複動油圧ホース

D2 : 複動油圧ホース



油圧ホース接続後は、油圧を稼動されて、本機の各動作を繰り返し行い、動作確認、及びシリンダー内にエアは入っていない事を確認する。

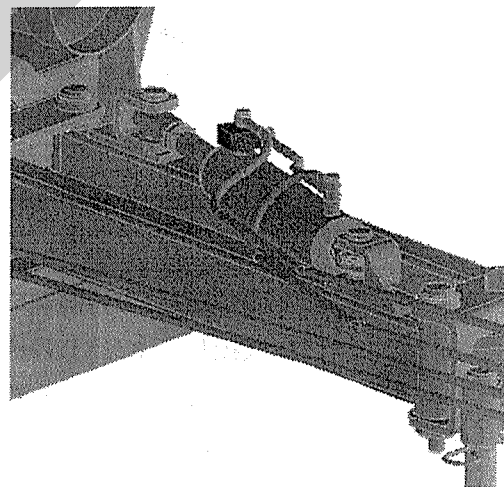


油圧ホースは必ず、二本セットで複動に接続する事。

サイドシフトシリンダーには、最高油圧バルブがついて
います。これは、障害物があると、シリンダーに圧がかかり
自動的に引く安全装置です。

本機にかかる障害物の抵抗をバルブで調整する事が出来ます。

- －調整ネジをしめこむと、障害物に対する圧が大きくなる。
- －調整ネジをゆるめると、障害物に対する圧が小さくなる。



重要：調整後は、ロック用のナットを確実に締める事。



- ・ 3点ヒッチのリンチピンを正しくセットする事。
- ・ ヒッチピンは規格にあった正しいものを使用する事。
- ・ 油圧ホースを含めて、すべてが確実に接続されている事。

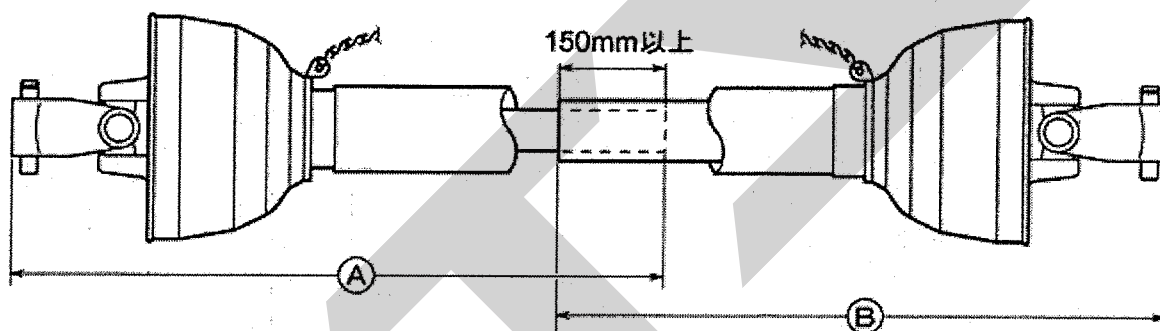
トラクタの取付け・取外し

4. P.T.O.ジョイントの取付け

- 本機と共に供給している P.T.O ジョイントは、本機が正しく、安全に操作、作業出来るような使用となっています。
- P.T.O ジョイントを交換する時は、必ず本機の仕様に合った物を使用してください。

本機装着後、トラクタの油圧昇降レバーで本機を上下し、トラクタの P.T.O 軸と本機の入力軸との間の最小寸法、最大寸法を測定します。その最小寸法で P.T.O ジョイントの底突がなく、最大寸法でオス、メスの重なり代が 150mm 以上になるようにジョイントの長さを調整してください。

レモンチューブを切りつめた時は、バリをヤスリ等で取り、グリスを塗布してください。



・標準品は A が 1552mm、B が 1532mm です。



- ・安全カバー、回転防止チェーンは必ず使用してください。
- ・破損しているものは新しいものと取替えてください。
- ・カバー、回転防止チェーンを使用しなかったり、破損したまま使用すると、巻き込まれることがあり非常に危険です。



- ロックピンが確実に作動したか確認してください。
- ジョイントが長すぎると、スプライン軸、又は入力部を破損することがあります。

トラクタの取付け・取外し

5. トラクタの取外し



この作業は非常に危険です。作業場付近に人がいない事を十分確認してください。

トラクタの取外しは、次の手順に従ってください。“2. トラクタの取付”を参照すると更に詳細を確認出来ます。

1. P.T.O の駆動解除
 2. 機械を水平にする
 3. トラクタのブレーキを確実にかける
 4. スタンドをつける
 5. 機械を平坦な地盤の良いところに下ろして、トラクタのエンジンを停止させる
 6. トップリンクを外す
 7. トラクタ側の P.T.O シャフトを外す
 8. ロアリンクを外す
 9. 油圧ホースを外す
- ロアリンク、トップリンクのリンチピン、ワッシャーは紛失防止の為、機械につけておく事。

ご使用になる前に

1. 作動確認

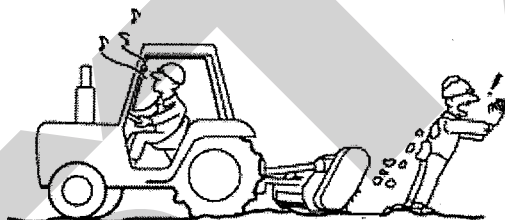
- (1) トラクタの取付けが終わりましたら周囲の安全を確認して、トラクタの P.T.O を低速で回転させてください。
- (2) 異常音、振動等がないかを確認してください。
- (3) 異常がなければ徐々に回転を上げ異常音、振動等が出ないか確認しながら P.T.O 回転を 540rpm まで上げて行きます。
- (4) 確認が終わったらエンジン回転を 1000rpm 以下にして P.T.O を止めます。
- (5) 異常が認められた時は、ただちに P.T.O 及びエンジンを止め点検してください。



作動させる時は、周囲（特に前、後方）30m に人がいないことを確認して行ってください。石、砂等が飛ぶことがあります危険です。



振動が大きな状態で使用すると、機械を破損します。刃の脱落や折れなどがある場合は新しい刃を取り付けて使用してください。



- P.T.O の ON.OFF はエンジン回転 1000rpm 以下で行ってください。高回転で行うと機械を破損します。
- P.T.O 回転を 540rpm 以上にしないでください。破損の恐れがあります。

2. トラクタのバランス

70PS 以上のトラクタでも種類によってはフロントウェイトが必要な場合があります。本機を取付け走行した時、ハンドルがフワフワしたり方向転換がしづらい場合は、必ずフロントウェイトをつけてください。



不安定な状態での使用は、転倒事故等の原因となりますので止めてください。

ご使用になる前に

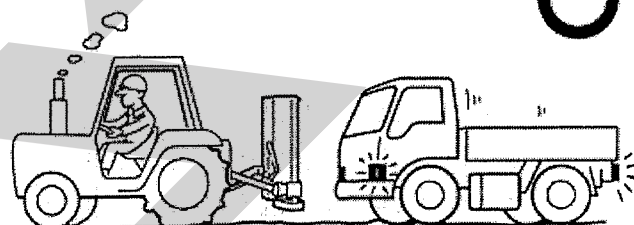
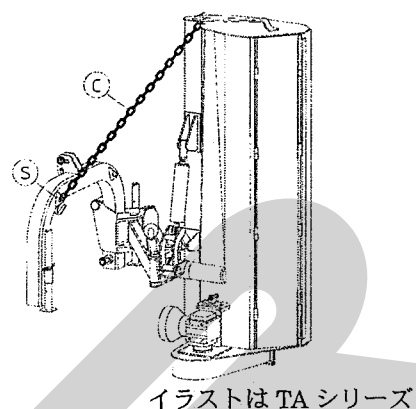
3. 走行について

走行や回送時は本機をトラクタに近づけて垂直に格納し、事故を未然に防ぐよう、昼夜をとわず後続に伴走車をつけてください。

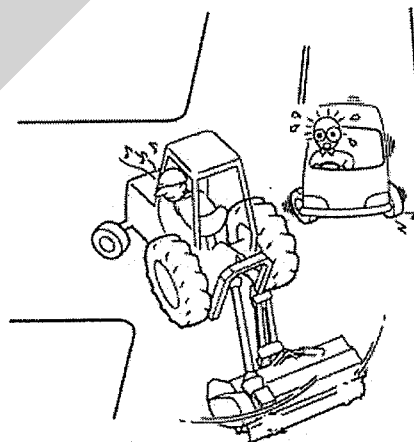
また、格納の方法は次の様にしてください。

- 1) P.T.O 駆動をニュートラルにする
- 2) 本機をトラクタの後ろに移動させる
- 3) 本機を回転出来るように、少し上げる
- 4) 本機を右図の様に垂直にする
- 5) 本機が地面に接触しない様に高さを調整する
- 6) 安全チェーンCをSに掛ける

※TASはミッションが機械の外側にある為、機械を垂直にした時は、地面と接触しないよう注意して下さい。



- 格納せずに走行すると、旋回時本機がふくらみ対向車線にはみ出す事がありますので注意してください。
- 凹凸路面、軟弱地、傾斜地、取付道路の乗り越え、路肩などの走行は細心の注意を払ってください。注意を怠ると、トラクタの転倒などの重大事故につながる恐れがあります。

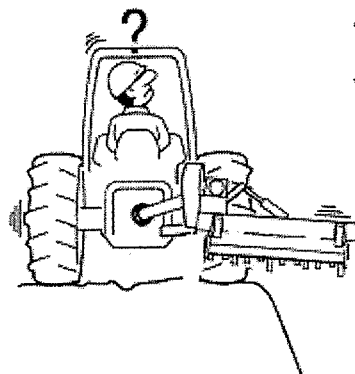


4. 路肩、畦端の作業について

路肩、畦端での作業時は端に寄りすぎないようにしてください。



路肩・畦端での作業時は端に寄りすぎて走行すると転倒、転落の恐れがあるので注意してください。

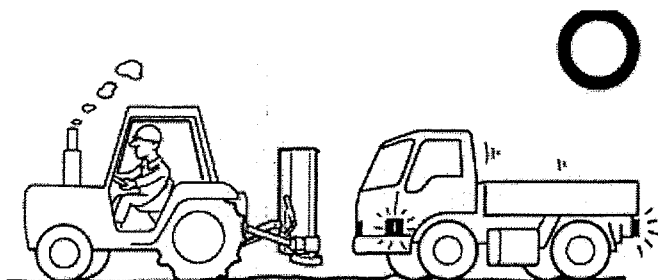


操作心得



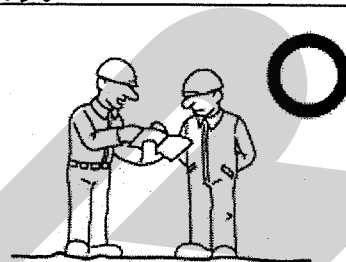
道路等を走行する時は昼夜をとわず
必ず伴走車をつけてください

後続車の追突を未然に防ぎます



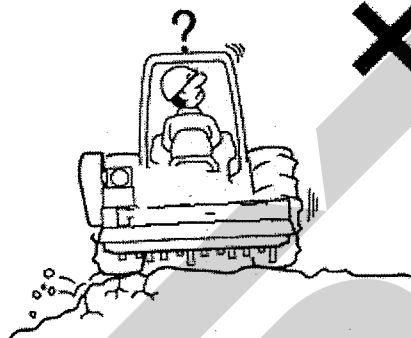
操作に未熟な人や、他人に貸し出す時
は、使い方を説明し、取扱説明書を読
むように指導してください。

不適切な人の運転は事故につながり
ます。



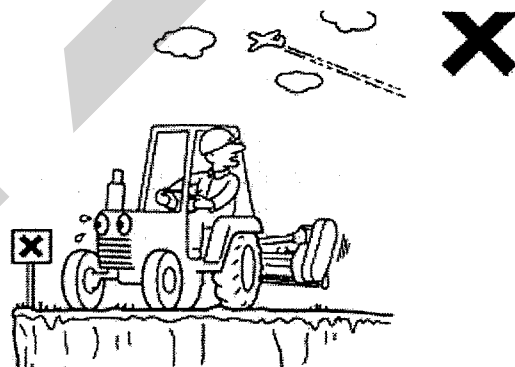
軟弱地盤や路肩、障害物はなるべく避け、
また急激な油圧操作はやめましょう。

バランスをくずし、トラクタの転倒事故
の原因につながります。



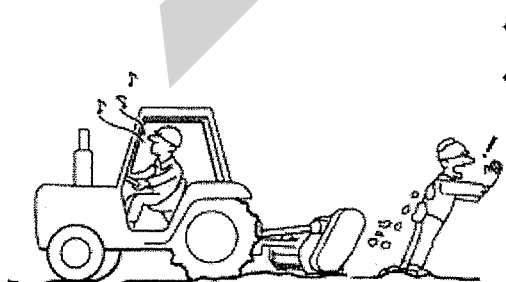
わき見運転や、ながら運転はやめま
しょう。

思わぬ事故をまねきます。

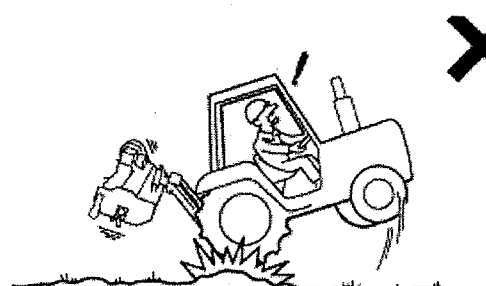


回転させる時や作業中は後方に人が
いないことを確認してください。

石、砂等が飛ぶことがあり大変危険で
す。



障害物はなるべくさけましょう
機械の破損やトラクタの転倒事故の
原因になります。



操作について

1. 操作概要

本機は、芝、雑草、灌木、小枝(径 3cm 以下)の刈取様にご利用できます。

使用方法是

- ・ トラクタの後ろ
- ・ トラクタの横での平坦な地面、上、或いは下傾斜にも対応できます。

諸元表に作業可能領域を記載していますが、次のような場合は、絶対使用しないでください。

- 適応馬力より小さなトラクタでの使用。
- 地面に石等がある場所。
- 急斜面、溝付近、凹凸が多い場所での作業
- 高木や低木の伐採
- 急な方向転換をする場所
- バック走行での作業



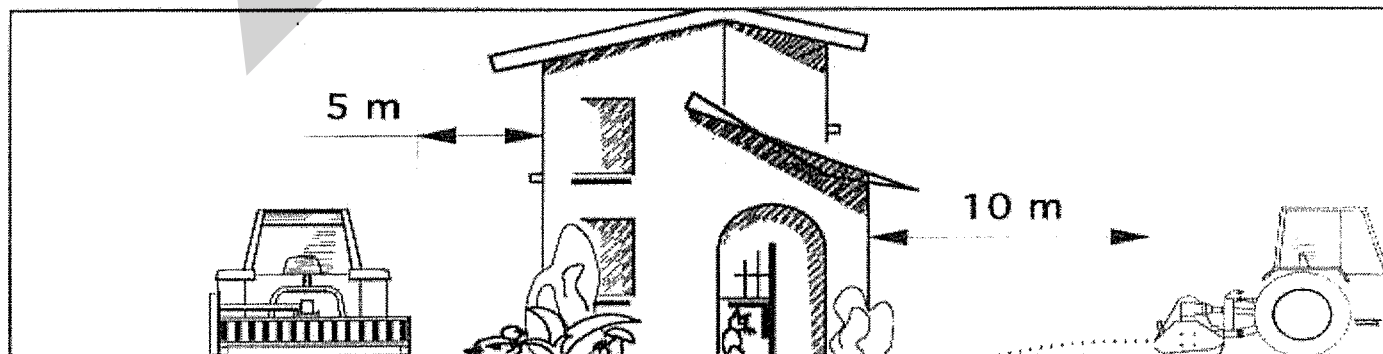
ほこりが多いところでは視界が悪くなりますので、十分な注意が必要です。

2. 使用時の注意点



次の項目は特に重要ですので、必ず守ってください。

- 作業開始前は、ローターを低速で回転を初めて徐々に回転を上げて異常がないか確認してください。
- 方向転換は、ローラーの回転を止め、本機をトラクタのリンクで持ち上げてから行ってください。
- 作業領域に人がいないことを確認してください。a
- 本機をトラクタリンクで持ち上げる時は P.T.O 駆動を解除してください。また、トラクタからおりる場合は、エンジンを止めてキーを抜いてください。
- 作業領域に建物がある場合
 - 横から 5 m 以上
 - 後方 10m 以上離してください。

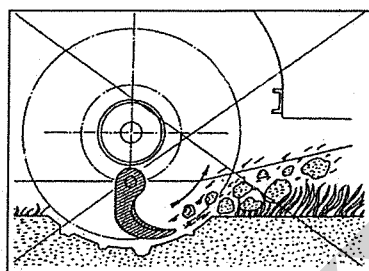


操作について

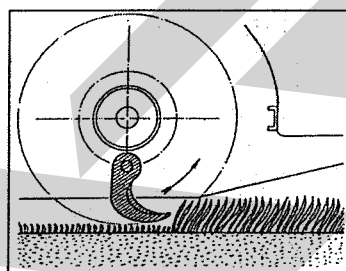
3. 作業開始

本機をトラクタに装着後、作業場に移動してください。

1. 油圧操作で、まず本機を水平にしてください。
2. 油圧操作で、作業領域に移動してください。
3. ゲージローラーが地面に接触するまで、本機を下げてください。
4. P.T.O を回転させる。(540rpm)
5. 低速回転で、ゆっくり前進する。
6. 必要に応じて機械の高さを調整してください。



NO



YES

7. 必要に応じてトラクタの前進速度を調整してください。
8. 刈取高さの変更が必要な場合はゲージローラーの位置を調整してください。(最小刈取高さは 30mm)。

4. トラクタの前進速度

トラクタの前進速度は、刈取物によって変わってきます。適切な速度でない場合は、駆動系の磨耗進行を早めます。また、刈取仕上げにも影響を及ぼし、刈取片も大きくなる可能性もあり、危険です。

次は目安としての前進速度になります。:

推奨する前進速度 (km/h)															
刈取物															
	0.5	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	8

細い芝															
野生の芝															
1年以上放置された野生の芝															
一般的な植木															
枝と重い灌木															

各部の調整と操作

1. 定期メンテナンス

- 1) 新車で4時間後、その後は50時間毎
 - ①ボルト等の緩みがないか確認
 - ②ベルトのテンション確認
 - ③グリスアップ、注油レベル確認
- 2) 機械を長期間使用しない場合
 - ①機械を綺麗に清掃
 - ②機械の状態を確認して必要な対応をして、直ぐに使用出来るようにしておく
 - ③冬期間は、屋内で0℃以上に保管すること
- 3) 再度、機械を使用する時
 - ①ベアリング等にグリスアップ
 - ②オイルレベルの確認
 - ③ミッションの確認
 - ④PTO ジョイントは機械の付属品である事

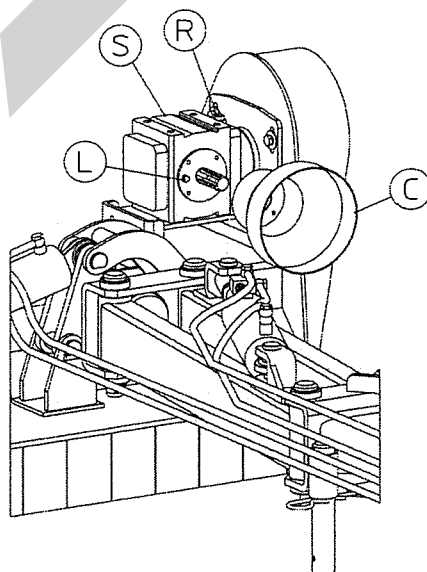
2. ミッション・オイル

ミッションでの作業前には、回りの部品を清掃し、汚れが、中に入らないようにする事。

- 1) 新車から20時間程度使用後、ミッションのオイルレベルを確認する。オイルがレベル穴の位置にある事。次回からは、50時間毎に確認してください。
- 2) 新車から40時間でオイルを交換してください。その後は250時間毎に交換してください。

オイルは”R”から入れ、”L”でレベルを確認出来ます。

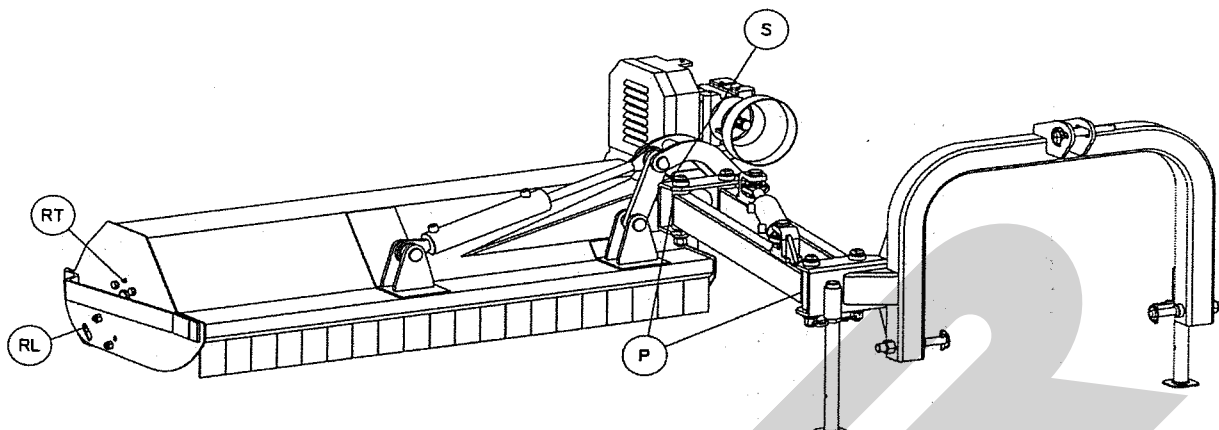
その為、ジョイント・カバー”C”を外してからレベルを確認してください。



イラストはTAシリーズ

各部の調整と操作

3. グリスアップ



イラストは TAS シリーズ

RL:ゲージローラー

両端に 8 時間毎にグリスアップ (グリスが出て来るまで)

RT:チョッパー軸

8 時間毎にグリスポンプで 1 ～ 2 回程度。(異物がベアリングシールに付かないように)
ローターは、プーリーカバーから出ているニップルからグリスアップをする。

S: ジョイント

20 時間毎

P: アーム

20 時間毎

4. V ベルトの調整

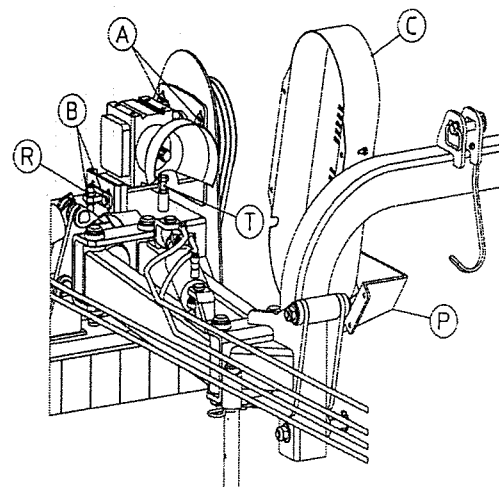
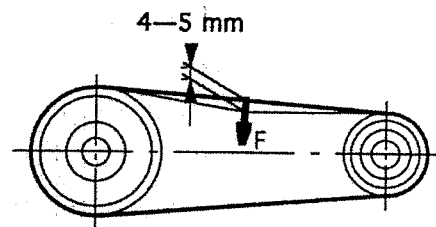
ベルトテンションは、右図の様に、両サイドのプーリーの中間で 4-5kg の力でおした時、4-5mm 程度押される様に調整してください。

ベルトの張りの調整は非常に重要です。

新車時は 4 時間後、その後は 50 時間毎に確認してください。

ベルト張り調整手順

- 1) プロテクター “P” を外す
- 2) プーリーカバー “C” を外す
- 3) ボルト “A” (4 本) を緩める
- 4) ボルト “B” (2 本) を緩める
- 5) 調整ボルト “T” とナット “R” で張りを調整後、固定する
- 6) ボルト “A” “B” を締める
- 7) プーリーカバー “C”、プロテクター “P” を取付ける



イラストは TA シリーズ



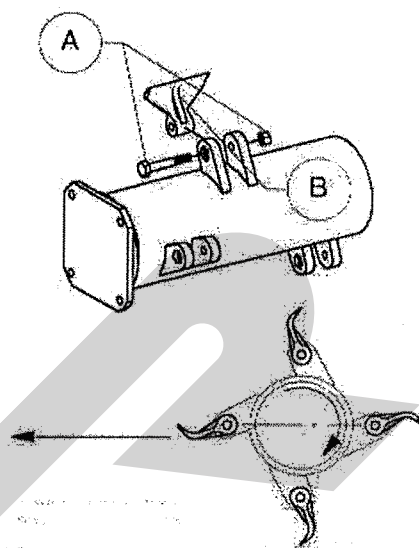
注意

調整中は P.T.O を切りエンジンを止め駐車ブレーキをかけてください

各部の調整と操作

5. 刈取り刃の交換

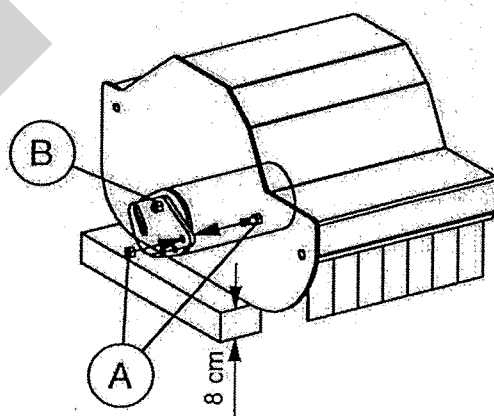
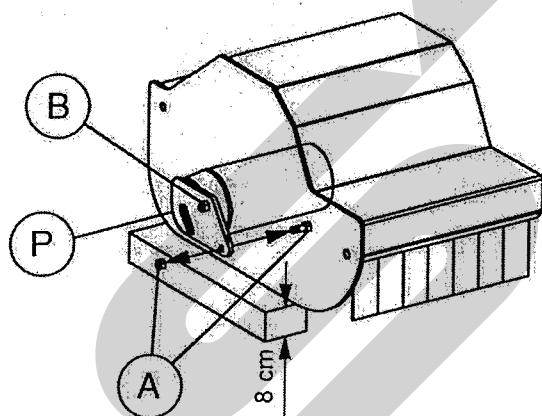
- 1) 本機を平坦で地盤の良いところに下ろす
- 2) トラクタから外す
- 3) ホイストで持ち上げ、本機をひっくり返して、ブレードにアクセス出来るようにする。
- 4) ボルト “A” を外して、ハンマー” B “を交換してください。
- 5) 新しいボルトを使用してください。



注意

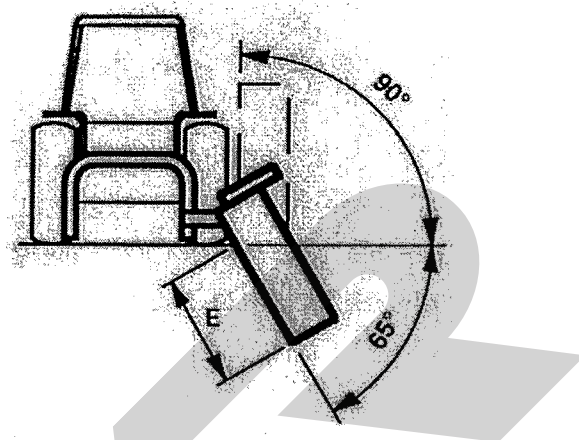
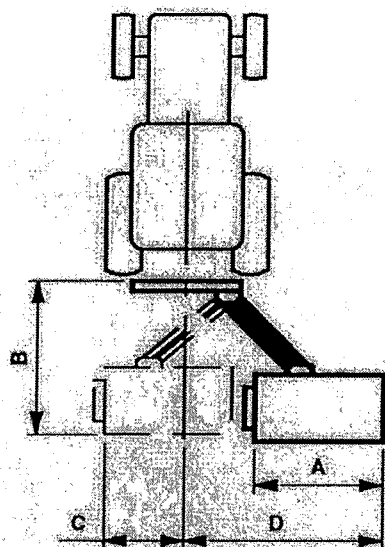
- 一部だけ取り替えたり、重量バランスを取らないと振動が大きくなり、機械の破損につながります。
- ハンマーブレード交換のときはボルトを締めたら必ず確認してください

6. ゲージ・ローラーの調整



- 1) サイドフレームの下に 8 cm のブロックを置く
- 2) P.T.O をリリースして、エンジンを止め駐車ブレーキをかけてください。
- 3) “A” 緩め、完全に外す
- 4) ボルト “B” を緩める
- 5) ブラケットを側面の穴のセンターにくる様に、回してください。
- 6) ボルト “A” を入れて締める
- 7) ボルト “B” を締める

仕様・諸元表



モデル	全長 (cm)	全幅 (cm)	高さ (cm)	A (cm)	B (cm)	C (cm)	D (cm)	E (cm)	重量 kg
TA-180	120	200	90	180	170	60	250	165	610
TA-200	120	220	90	200	170	60	270	185	650
TA-220	120	240	90	220	170	60	290	205	690
TA-250	120	270	90	250	170	60	310	225	710
TAS-180	120	200	90	180	170	15	295	180	620
TAS-200	120	220	90	200	170	15	315	200	660
TAS-220	120	240	90	220	170	15	335	220	700

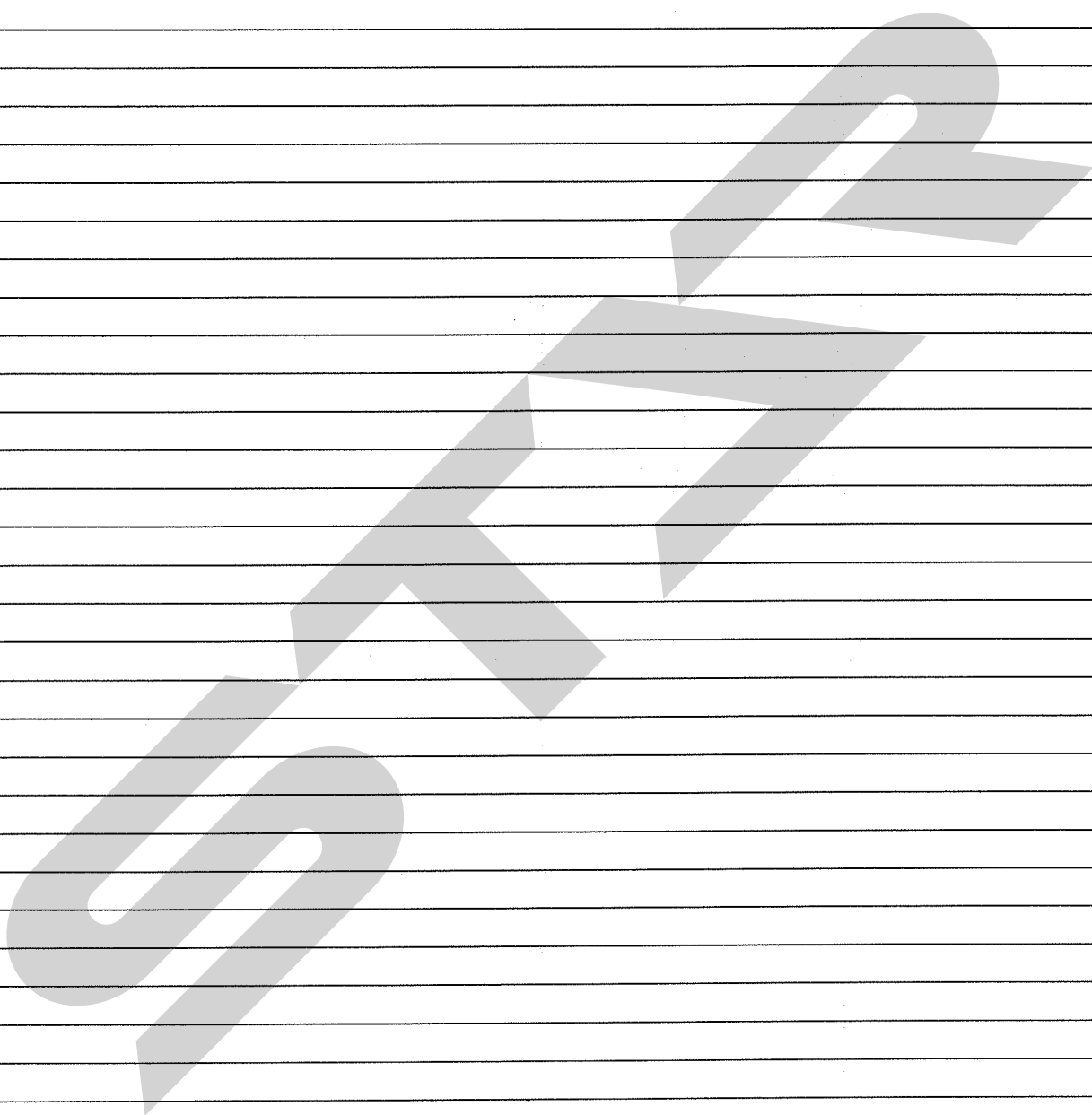
結び

本機を長期間、安全、有効に使用いただき、少しでもお役に立つために、この取扱説明書を作成致しましたが、まだまだ説明不足の点が多くあると思います。

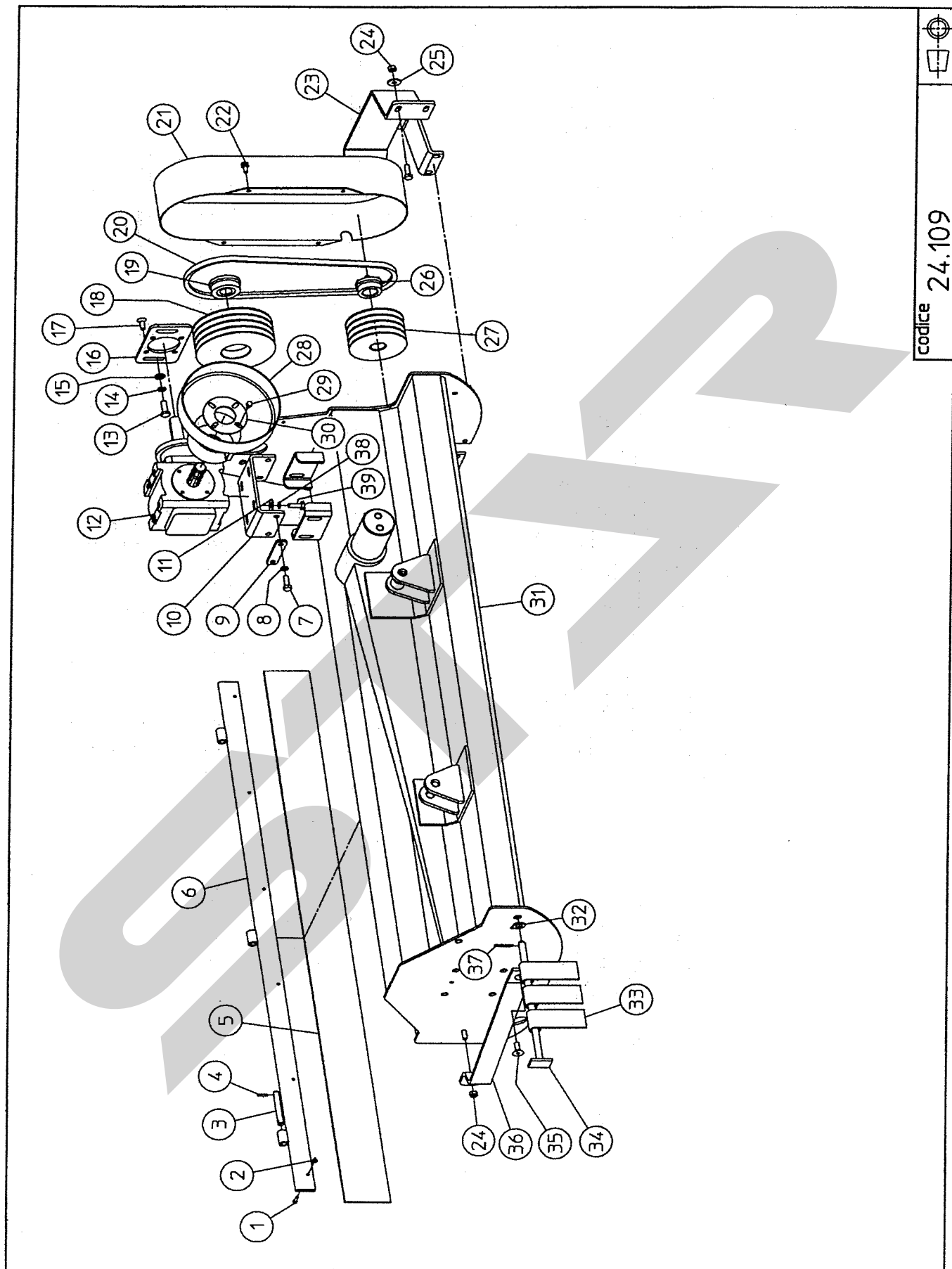
本書にて理解出来ない事につきましては、御遠慮なく当社へ連絡してください。

専門技術員が説明申し上げます。

Notes



1. フレーム・ミッション・ドライブ (TAシリーズ)

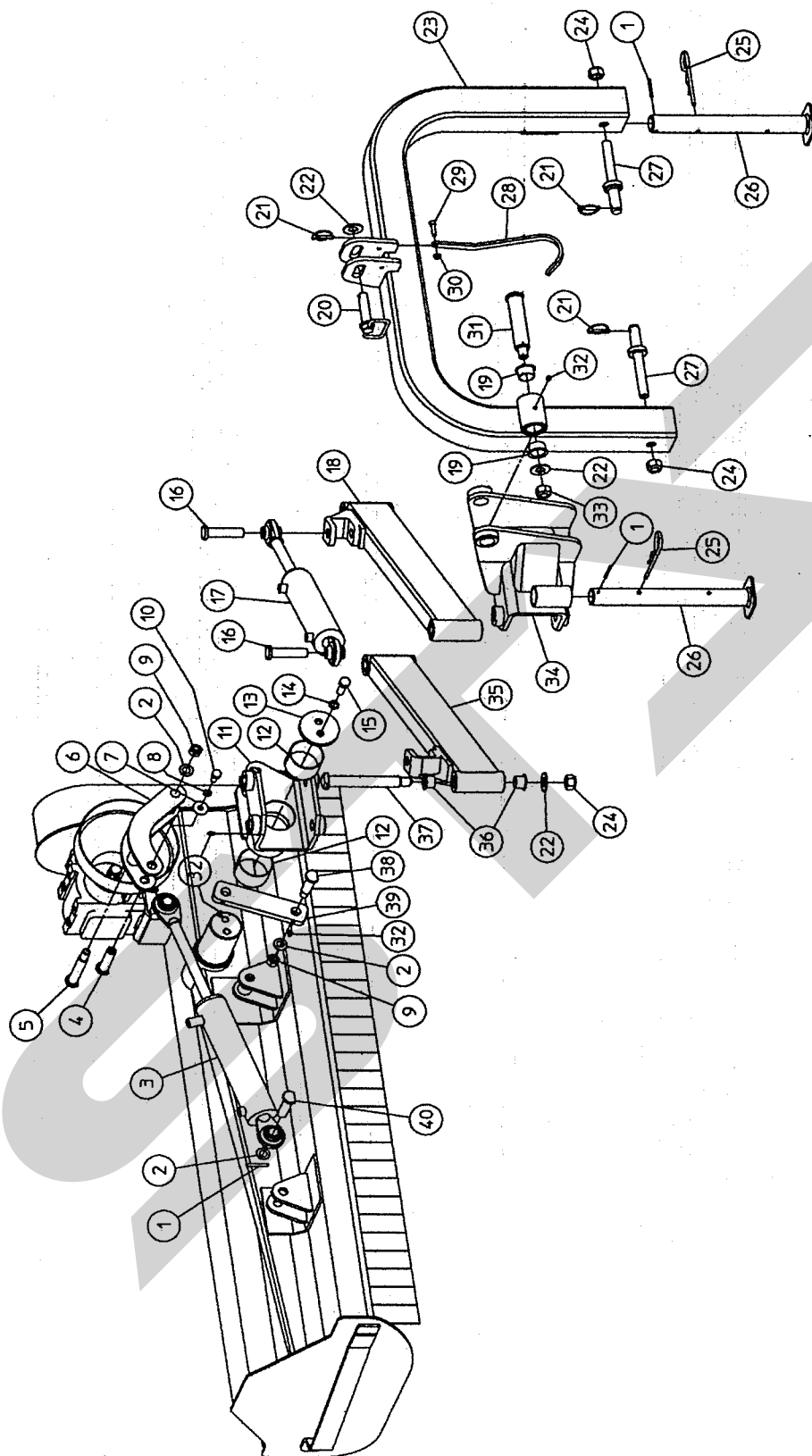


codice 24.109

1. フレーム・ミッション・ドライブ (TAシリーズ)

番号	TA 180	TA 200	TA 220	TA 250	数量	部品名	規格、備考
1	V060252TF088Z	V060252TF088Z	V060252TF088Z	V060252TF088Z		ボルト ZN	
2	DE06AL6SPGZ	DE06AL6SPGZ	DE06AL6SPGZ	DE06AL6SPGZ		ナット ZN	
3	PE0150110	PE0150110	PE0150110	PE0150110		ヒンジピン	
4	SE06026	SE06026	SE06026	SE06026		ロールピン 6x26	
5	LT06130L1800	LT06130L2000	LT06130L2200	LT06130L2500		ゴム板	
6	SPTA180	SPTA200	SPTA220	SPTA250		ゴム座金	
7	V120352TF088N	V120352TF088N	V120352TF088N	V120352TF088N		ボルト	
8	RG12XXARN	RG12XXARN	RG12XXARN	RG12XXARN		スプリングワッシャφ12	
9	PF07/2104	PF07/2104	PF07/2104	PF07/2104		プレート	
10	PF/0366	PF/0366	PF/0366	PF/2144		固定プレート	
11	RF1236FN	RF1236FN	RF1236FN			ワッシャφ12x36	
				RP16XXFN		ワッシャφ16	
12	S0311R130CRL	S0311R130CRL	S0311R130CRL			ミッション, 311	
				S0312R130CRL		ミッション, 312	
13	V140402TF088N	V140402TF088N	V140402TF088N	V140402TF088N		ボルト	
14	RG14XXARN	RG14XXARN	RG14XXARN	RG14XXARN		スプリングワッシャφ14	
15	RP14XXFN	RP14XXFN	RP14XXFN	RP14XXFN		ワッシャφ14	
16	PT/1006	PT/1006	PT/1006	PT/1006		ベルト固定板	
17	V120353TF109N	V120353TF109N	V120353TF109N	V120353TF109N		ボルト, TSPEI	
18	PG212G4ML	PG212G4ML	PG212G4ML			プーリー, 212x4	
				PG236G4V		プーリー, 236x4	
19	CA3380	CA3380	CA3380			ブッシング 33x80	
				CA4080		ブッシング 40x80	
20	CISPB1400	CISPB1400	CISPB1400			ベルト SPB1400	XPB 1400
				CIXPB1500		ベルト XPB1500	XPB 1500
21	CT/0867	CT/0867	CT/0867	CT/0867		カバー	
22	V1001602TF109Z	V1001602TF109Z	V1001602TF109Z	V1001602TF109Z		ボルト, ZN	
23	PCP/1038	PCP/1038	PCP/1038	PCP/1038		プロテクター	
24	DE12AL6SPGZAB	DE12AL6SPGZAB	DE12AL6SPGZAB	DE12AL6SPGZAB		ナイロンナット	
25	RF1236FZ	RF1236FZ	RF1236FZ	RF1236FZ		ワッシャφ12x36 ZN	
26	CA4065	CA4065	CA4065			ブッシング 40x65	
				CA4080		ブッシング 40x80	
27	PG150G4	PG150G4	PG150G4			プーリー 150x4	
				PG180G4V		プーリー 180x4	
28	CC005	CC005	CC005	CC005		入力軸カバー	
29	V0801202TF109Z	V0801202TF109Z	V0801202TF109Z	V0801202TF109Z		ボルト, ZN	
30	FR/1338	FR/1338	FR/1338	FR/1338		補強フランジ	
31	CC180/1100	CC200/1100	CC220/1100	CC250/1100		メインシャーン	
32	RP18XXFN	RP18XXFN	RP18XXFN	RP18XXFN		ワッシャφ18	
33	PA05/0011	PA05/0011	PA05/0011	PA05/0011		フラップ	
34	PE0181830	PE0182020	PE0182230	PE0182530		フラップシャフト	
35	V120353TF109N	V120353TF109N	V120353TF109N	V120353TF109N		ボルト, TSPEI	
36	PL100600	PL100600	PL100600	PL100600		横ガード	
37	CF050060	CF050060	CF050060	CF050060		ロールピン	
38				RG16XXARN		スプリングワッシャφ16	
39				V160352TF088		ボルト	

2. ヒッチ・アーム (TAシリーズ)

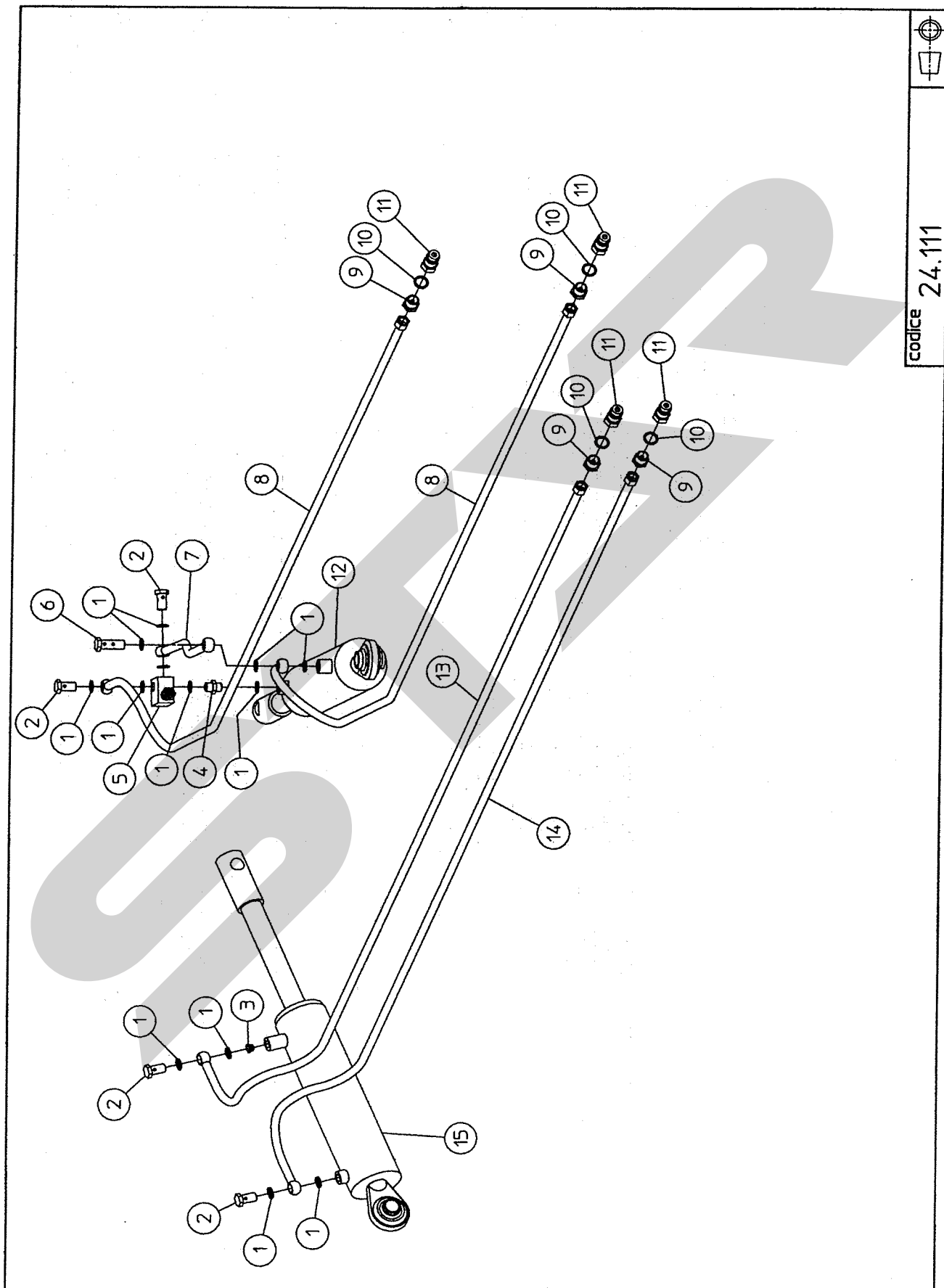


codice 24.110

2. ヒッチ・アーム (TAシリーズ)

[illegible]

3. 油圧関連 (TAシリーズ)

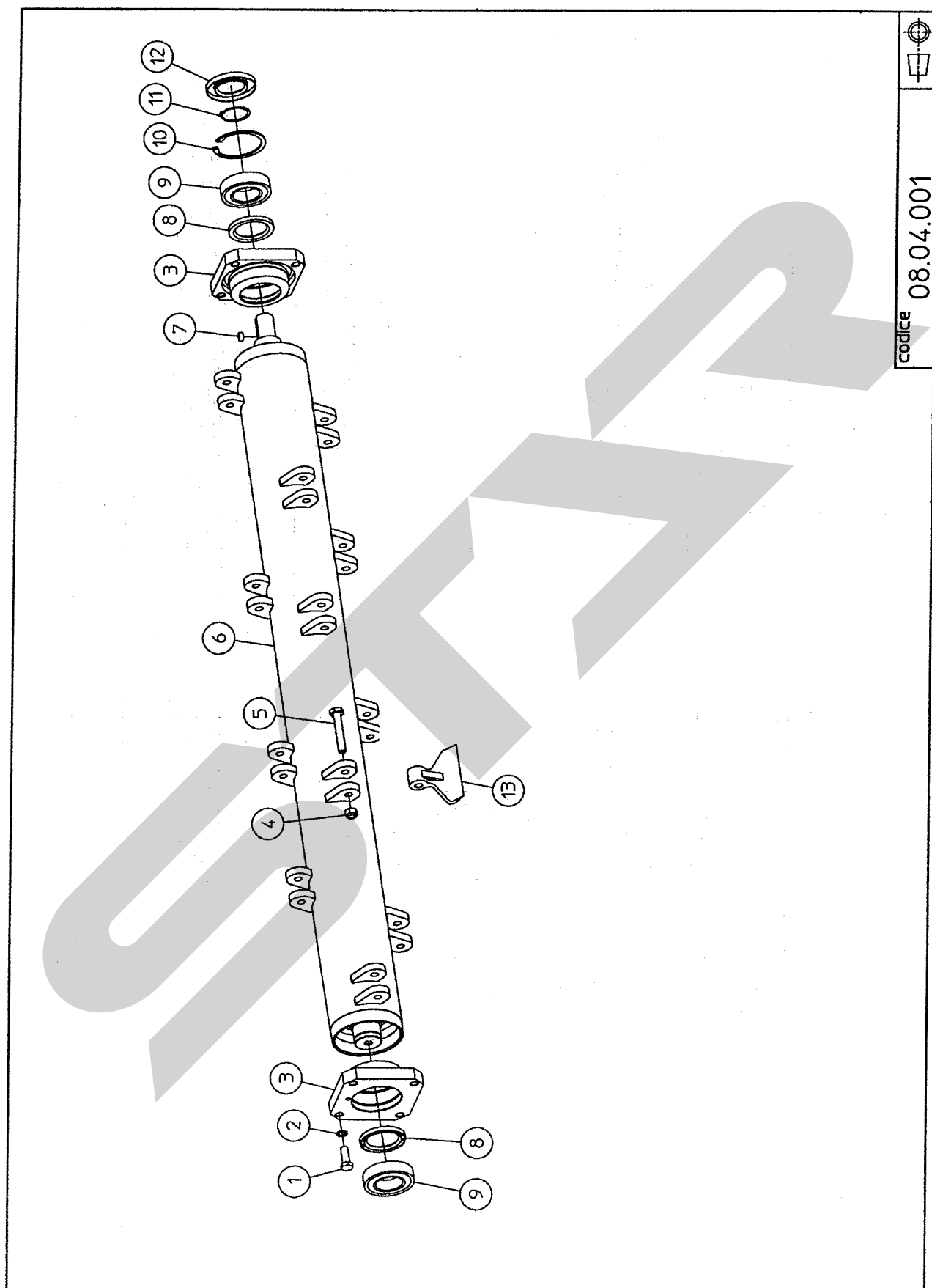


codice 24.111

3. 油圧関連 (TAシリーズ)

[illegible]

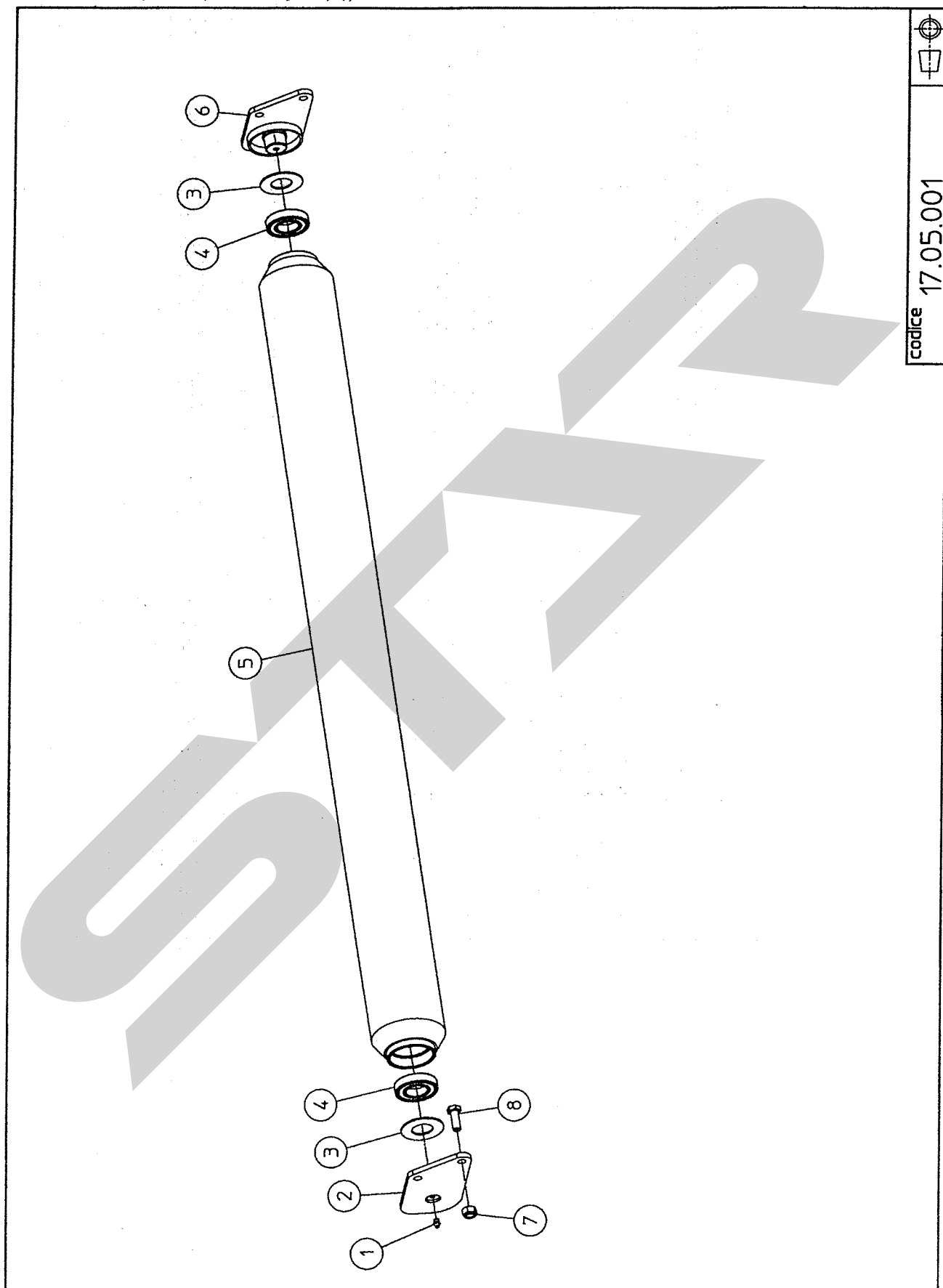
4. チョッパー軸 (TAシリーズ)



4. チョッパー軸 (TAシリーズ)

[illegible]

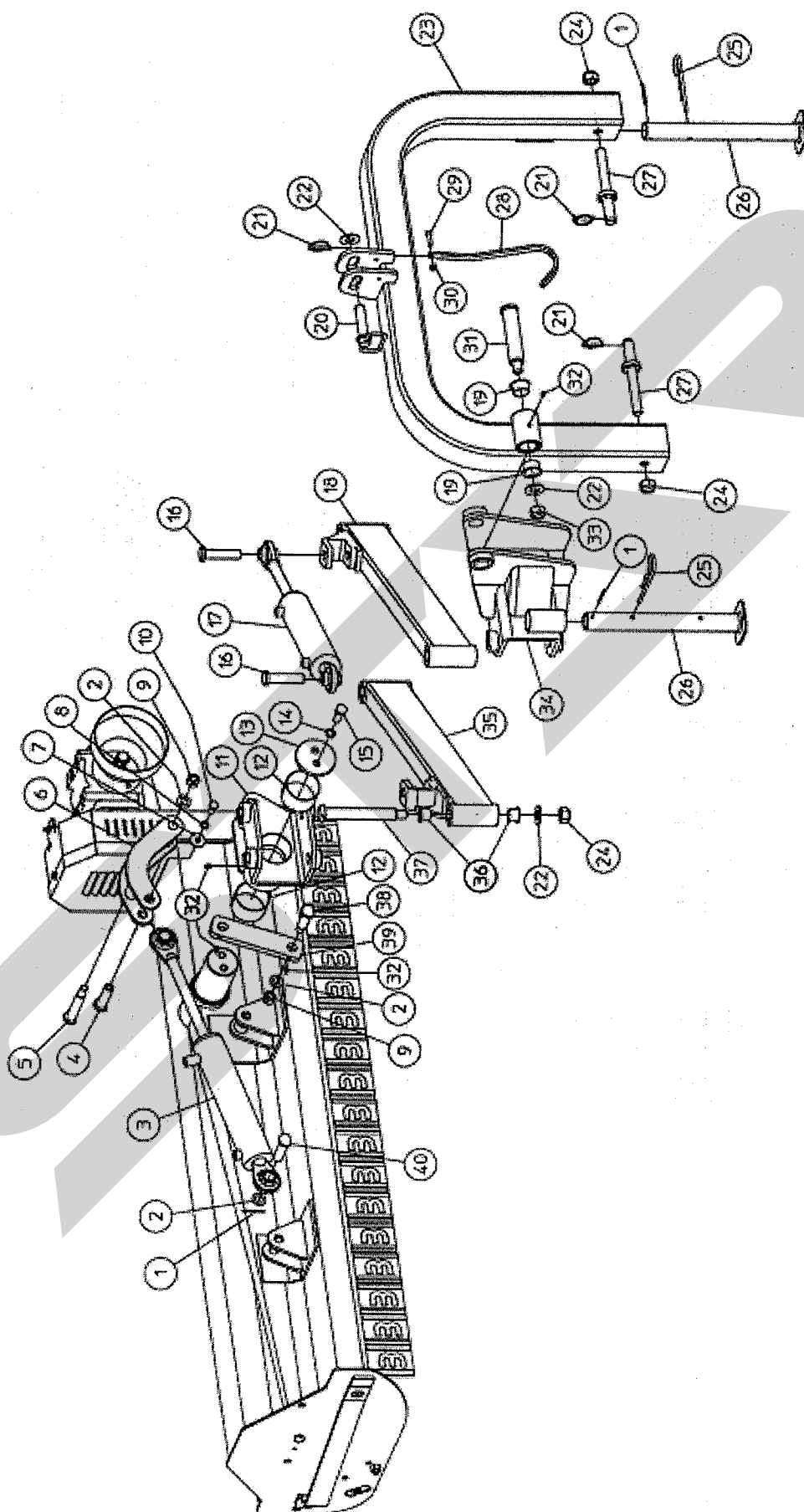
5. ゲージローラー (TAシリーズ)



codice 17.05.001

[illegible]

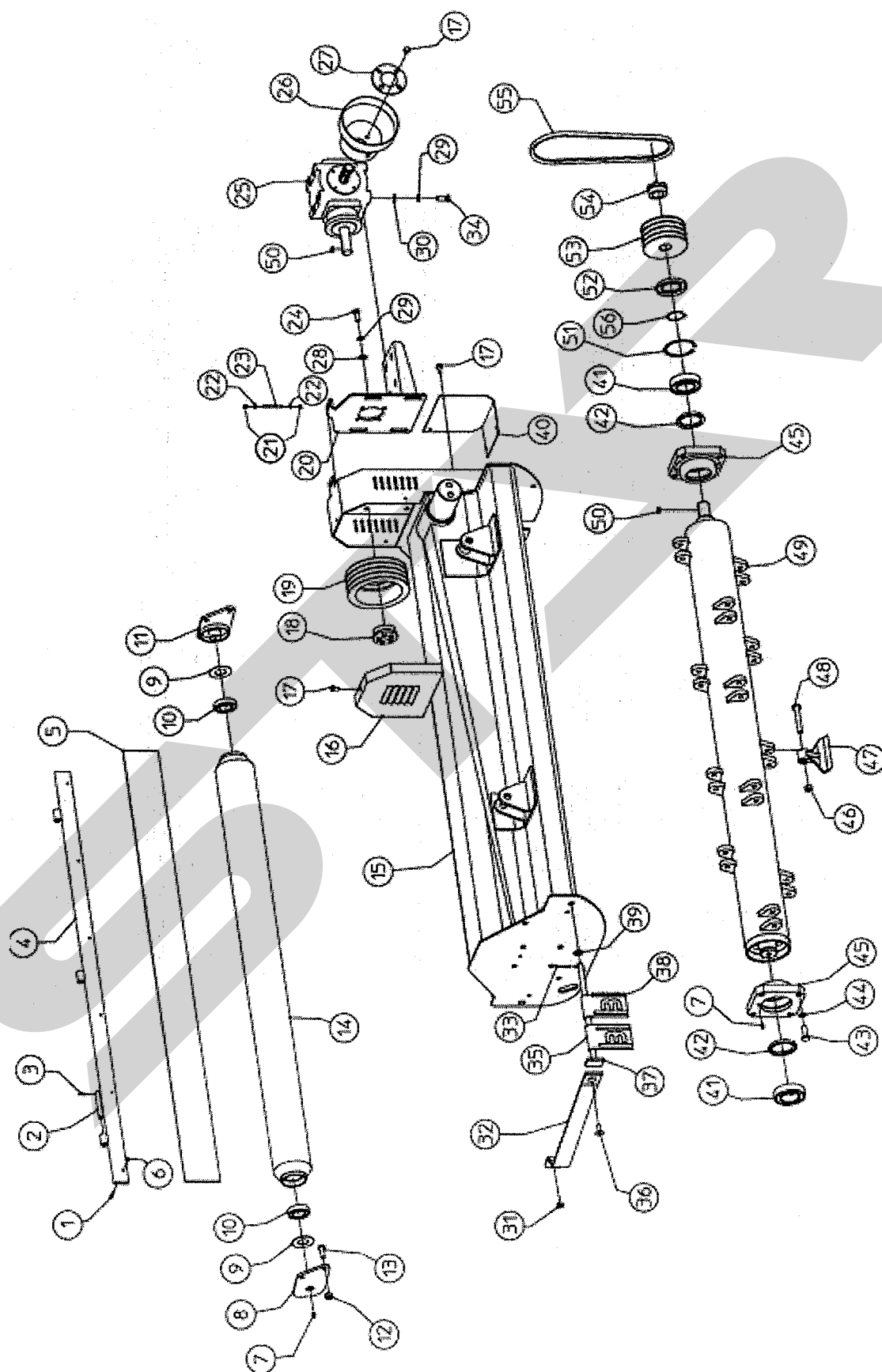
1. ヒッチ、アーム (TASシリーズ)



1. ヒッチ、アーム (TASシリーズ)

[illegible]

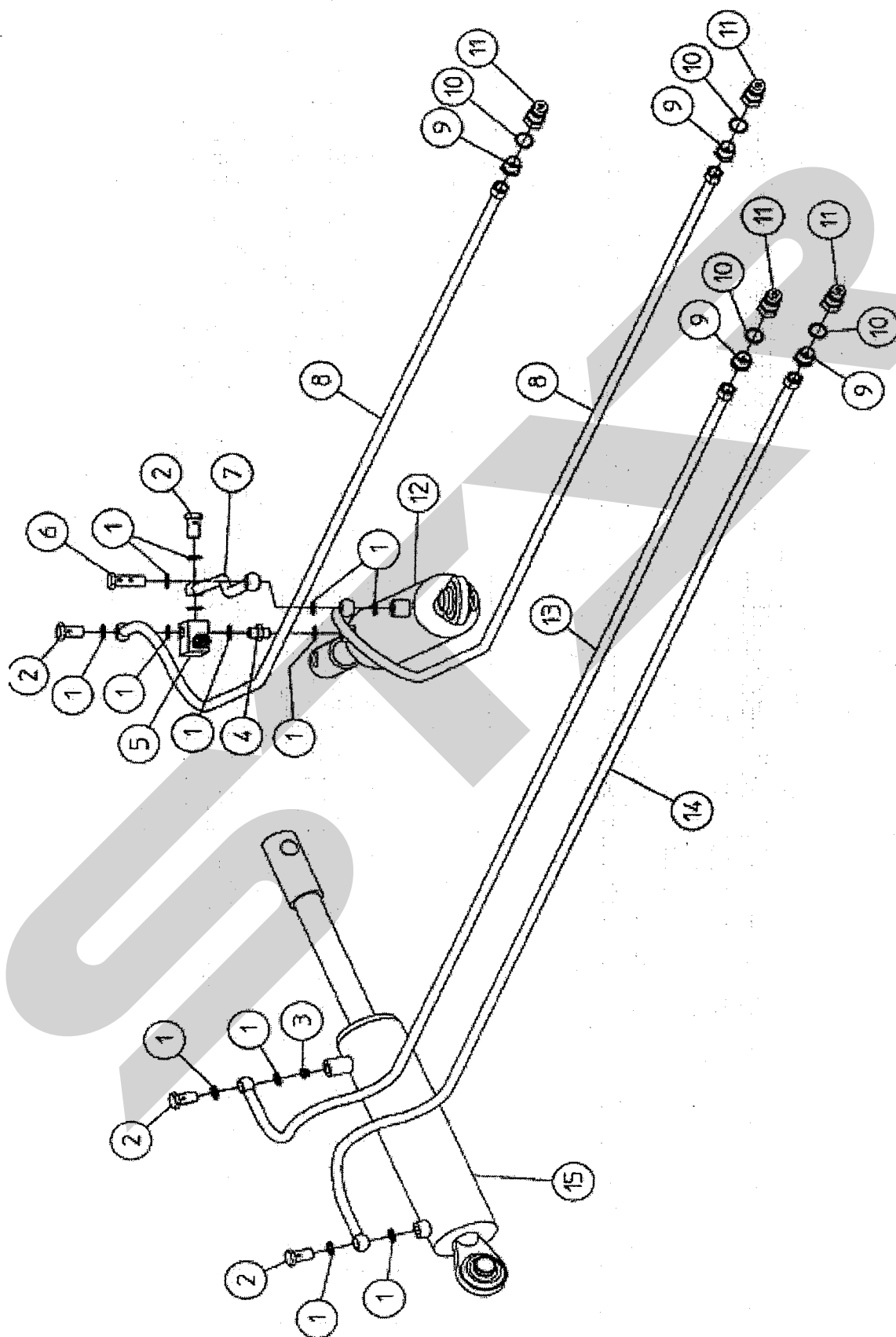
2. フレーム、他 (TASシリーズ)



2. フレーム、他 (TAS シリーズ)

番号	TAS 180	TAS 200	TAS 220	数量	部品名	規格、備考
1	V060252TF088N	V060252TF088N	V060252TF088N		ボルト	
2	PE0150110	PE0150110	PE0150110		ヒンジピン	
3	SE06026	SE06026	SE06026		ピン	
4	PG1720/0285	PG1920/0285	PG2120/0285		ゴム座金	
5	LT06130L1800	LT06130L2000	LT06130L2200		ゴム板	
6	DE06AL6SPGZ	DE06AL6SPGZ	DE06AL6SPGZ		ナット	
7	IN101XXDR	IN101XXDR	IN101XXDR		グリスニップル	
8	PR139DX/2205	PR139DX/2205	PR139DX/2205		ブラケット右	
9	RP4080	RP4080	RP4080		ワッシャ	
10	CRS062081RS	CRS062081RS	CRS062081RS		ベアリング	
11	PR139SX/2205	PR139SX/2205	PR139SX/2205		ブラケット左	
12	DE14AL6SPGZAB	DE14AL6SPGZAB	DE14AL6SPGZAB		ナイロンナット	
13	V140402TF088N	V140402TF088N	V140402TF088N		ボルト	
14	RL180/2225	RL200/2225	RL220/2225		ゲージローラー	
15	CC180/2142	CC200/2142	CC220/2142		メインシャーシー	
16	CS/2085	CS/2085	CS/2085		トップカバー	
17	V0801202TF109Z	V0801202TF109Z	V0801202TF109Z		ボルト	
18	CA3380	CA3380	CA3380		ブッシング	
19	PG212G4ML	PG212G4ML	PG212G4ML		プーリー	
20	PR/2227	PR/2227	PR/2227		ベルト調整板	
21	DE08AL6SPGN	DE08AL6SPGN	DE08AL6SPGN		ナット	
22	RP08XXFN	RP08XXFN	RP08XXFN		ワッシャ	
23	BF08PGZ	BF08PGZ	BF08PGZ		ピン	
24	V140352TF088N	V140352TF088N	V140352TF088N		ボルト	
25	S0311R130CRL1	S0311R130CRL1	S0311R130CRL1		ミッション	
26	CC005	CC005	CC005		入力軸カバー	
27	FRZ/1338	FRZ/1338	FRZ/1338		補強フランジ	
28	RF1442FN	RF1442FN	RF1442FN		ワッシャ	
29	RG14XXARN	RG14XXARN	RG14XXARN		スプリングワッシャ	
30	RP12XXFN	RP12XXFN	RP12XXFN		ワッシャ	
31	DE12AL6SPGZAB	DE12AL6SPGZAB	DE12AL6SPGZAB		ナイロンナット	
32	PL100600	PL100600	PL100600		サイドカード	
33	CF050060	CF050060	CF050060		ピン	
34	V120352TF088N	V120352TF088N	V120352TF088N		ボルト	
35	PA04/2217	PA04/2217	PA04/2217		フラップ	
36	V120352TF109N	V120352TF109N	V120352TF109N		ボルト	
37	PE0181830	PE0182020	PE0182230		フラップシャフト	
38	PA04/2219	PA04/2219	PA04/2219		フラップ	
39	RP18XXFN	RP18XXFN	RP18XXFN		ワッシャ	
40	CI/2083	CI/2083	CI/2083		カバー下	
41	COS02212	COS02212	COS02212		ベアリング	
42	AT07010010	AT07010010	AT07010010		シールリング	
43	V160452TF088N	V160452TF088N	V160452TF088N		ボルト	
44	RG16XXARN	RG16XXARN	RG16XXARN		スプリングワッシャ	
45	SR159/0026	SR159/0026	SR159/0026		チョッパー軸ハウジング	
46	DE18AL6SPFZAB	DE18AL6SPFZAB	DE18AL6SPFZAB		ナイロンナット	M18
47	MA/3922	MA/3922	MA/3922		ハンマーブレード "A"	
48	VTQ27M18/3921	VTQ27M18/3921	VTQ27M18/3921		ボルト M18, 10, 9	M18 x 116
49	RB159180/0014	RB159200/0015	RB159220/0016		チョッパー軸	
50	CH1208020	CH1208020	CH1208020		キー	
51	ASI110	ASI110	ASI110		スナップリング, 110	
52	AT06011012	AT06011012	AT06011012		シールリング	
53	PG150G4	PG150G4	PG150G4		プーリー	
54	CA4065	CA4065	CA4065		センターロック	
55	CIXPB1250	CIXPB1250	CIXPB1250		ベルト	XPB 1250
56	ASE060	ASE060	ASE060		スナップリング, 60	

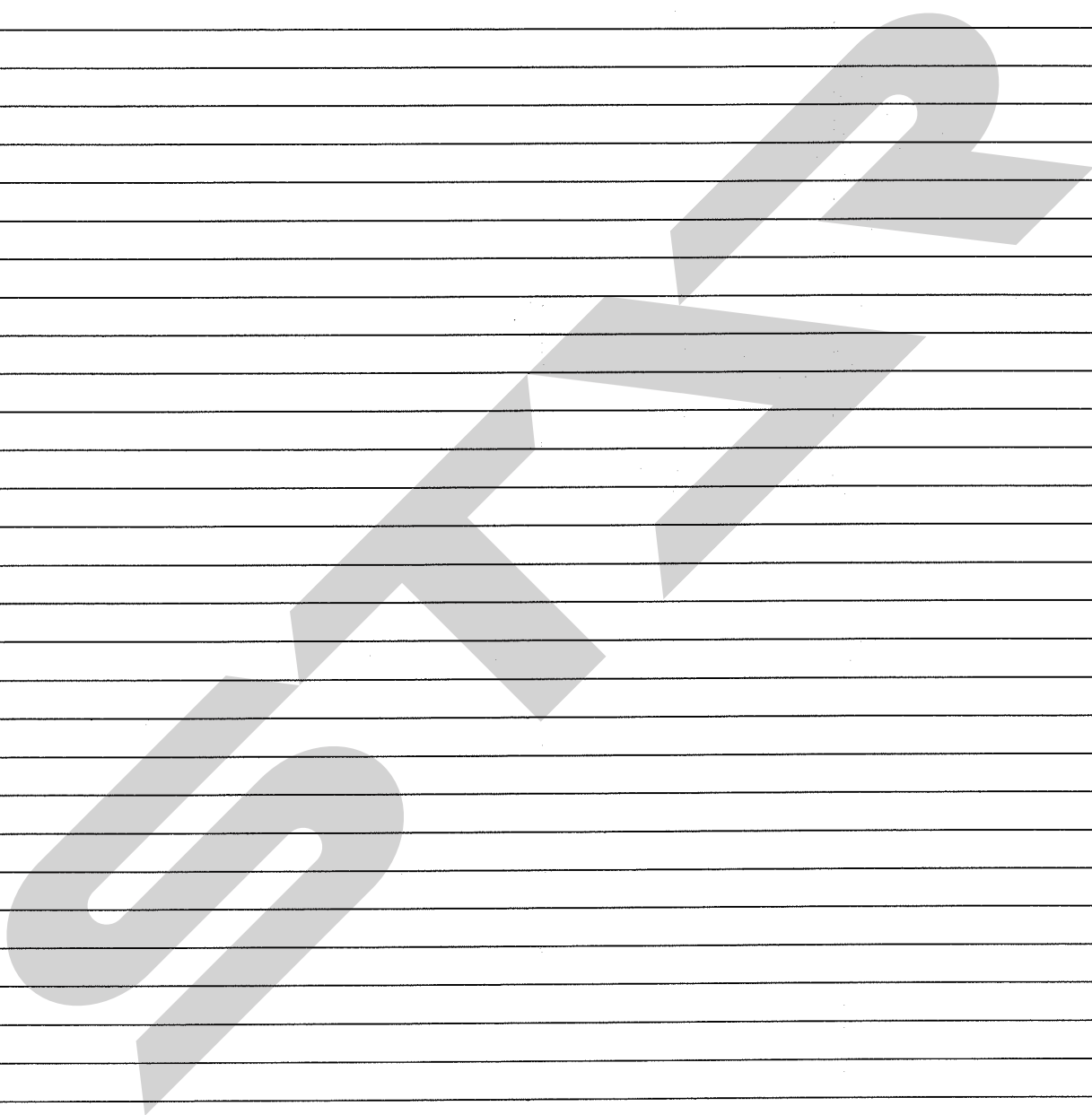
3. 油圧関連 (TAS シリーズ)



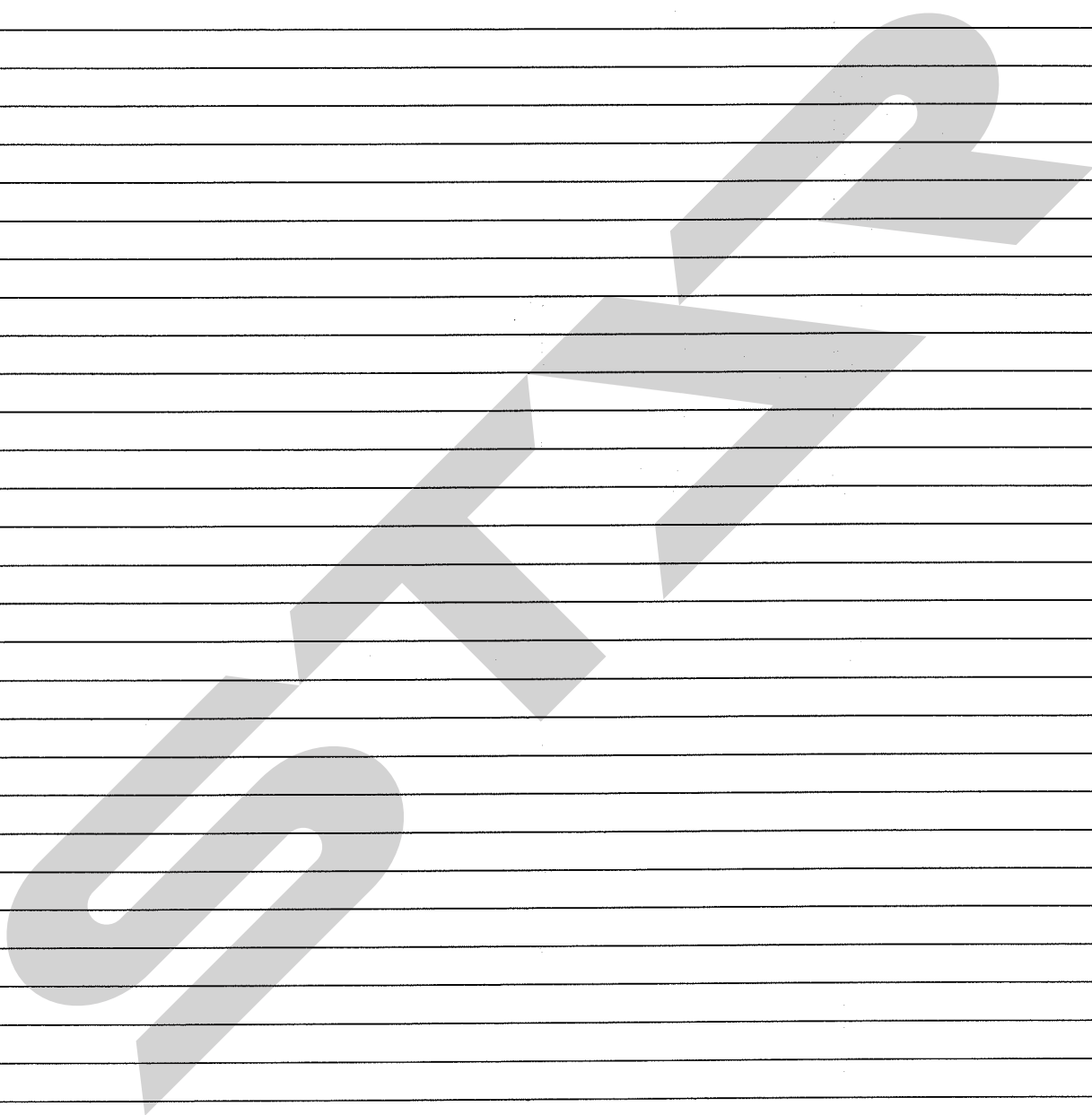
3. 油圧関連 (TAS シリーズ)

[illegible]

Notes



Notes



本社 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ 1 1 9 1 番地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西 2 2 条北 1 丁目 1 2 番地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町 2 丁目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花巻営業所 028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第 1 1 地割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙台営業所 983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字神明 1 7 9 - 1
TEL 022-388-8673
FAX 022-388-8735

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

犬山出張所 484-0894 愛知県犬山市羽黒字合戦橋 5 番 1
TEL 0568-69-1200
FAX 0568-69-1210

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市北区下中野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 861-8030 熊本県熊本市小山町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都城営業所 885-1202 宮崎県都城市高城町穂満坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233